

## 第 2 回 厚生文教常任委員会 概要報告

<b>年 月 日</b>	令和8年2月12日	<b>会場</b>	第一委員会室	<b>案件</b>	所管事項の調査
<b>出席委員</b>	高橋伸典、今村芳彦、東千春、高野美枝子、倉澤宏、佐藤靖、谷聡				
<b>委員外議員</b>					
<b>欠席委員</b>					

### 報告事項

#### 【名寄市立大学】

名寄市立大学の現況について

1. 学生の就職活動について

- ・令和8年2月1日現在で91.7%の就職内定率であり、今後100%に近づく。
- ・名寄市内には13人が内定しているほか、複数名が回答待ちである。

2. 名寄市の仕事ミニジョブカフェについて

- ・年度に2回行っており、市内11の事業者が参加している。取り組みは継続しキャリア支援センターなどで成果を検証しながら進めたい。市内就職した卒業生が説明員で登場するなどの状況もある。

3. 令和8年度一般選抜入試志願状況について

- ・全体の志願者は昨年比96名が減少したが、前期後期合計で志願倍率2.9倍。

#### 【市立総合病院】

令和7年度 病院事業会計決算見込みについて

- ・病院事業収益 92億5,900万円  
 入院収益 51億2千万円、外来収益 23億9千万円、医業外収益 12億1,500万円
- ・病院事業費用 106億1,940万円  
 医業費用 102億9,800万円 医業外費用 3億1,300万円
- ・決算見込みで13億6,000万円のマイナス見込み

#### <質疑>

問 資金ショートが懸念されるが状況は。

答 非常に厳しい状況。地方公営企業法で認められている年度内の返済に市からの臨時の繰入れを頂けないか協議している。

問 抜本的な経営改善が必要ではないか。

答 取り組んではいるが足りない部分もある。入院患者数の減少対策、コスト削減へ実効性のある内容に取り組むため、洗い出し作業を進めている。

問 固定医の確保が必要ではないか。

答 必要であり、旭川医大、北大それぞれ医局と交渉し医師確保に取り組みたい。

AI 問診システムの運用開始について

- ・慢性化する長時間労働や業務過多に託すべく、受付後に待合室で専用タブレット端末を用いた症状や体調を入力する仕組み。
- ・産婦人科、総合内科、救急の外来で活用する。
- ・今後は患者自身のスマートフォンを用いた来院前問診を段階的に導入し、全診療科への展開を検討。

令和 8 年度市立総合病院診療体制(見込み)について

- ・医師 60 名、研修医 7 名、新規採用看護師 14 名うち市立大学出身者 5 名、医療技術員 4 名採用

その他

- ・病院事業決算見込みに関する追加説明として、令和 8 年のシミュレーションと一時借入金の推移について説明を受けた。

## 【健康福祉部】

第 1 回定例会提案予定の議案について

- ・名寄市乳児等通園支援事業の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について説明があり、質疑は本会議で行うこととした。

最高裁判決への対応を踏まえた保護費等の追加給付について

- ・追加給付の対象世帯の条件、システム改修など今後のスケジュールについて説明を受けた。

名寄市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について

- ・新型インフルエンザ予防特別措置法第 8 条第 7 項の規定に沿い、名寄市保健医療福祉推進協議会で協議し承認された。
- ・今後 3 月に北海道へ報告し公表する流れとなる。

乳児等通園支援事業の実施について

- ・全ての子どもの育ちを応援し、良質な育成環境を整備するため全国一律で本格実施となる。
- ・東保育所を予定し、0 歳 6 か月から 3 歳未満、定員 4 名、月曜から金曜午前と午後、1 人 1 時間 300 円、給食提供は行わない。
- ・国が構築したシステムを活用し登録が必要となる。
- ・広報 3 月号で周知し、保護者説明会も開催する。

## <質疑>

問 定員の考え方は。

答 ニーズ調査を行った結果であり、正職員 1 名と会計年度職員 1 名の 2 名体制を考えている。

物価高対応子育て応援手当給付金について

- ・公務員を除く児童手当支給対象世帯に給付を実施し、1,011 件、1,732 名に 3,464 万円を支給した。

<質疑>

問 第1回臨時会で補正された6,400万円のうち3,164万円と認識しているが残金の取り扱いは  
答 今後公務員からの申請や、誕生する子どもへ随時支給する。

【市民部】

国民健康保険税における子ども・子育て支援分の新設について

- ・令和8年度から子ども・子育て支援施策の財源を安定的に確保するため、全ての公的医療保険に設けられることとなった。
- ・国民健康保険でも4区分から課税されることとなり、北海道が示す標準賦課方法にて税率設定を行い円滑な制度運用に向けて準備を進める。

国民健康保険税の課税限度額及び低所得者に係る軽減判定所得の見直しについて

- ・閣議決定された税制改正の大綱において中間所得層の負担軽減を図る見直しがあった。
- ・物価上昇による年金収入の増加により軽減対象から外れないよう見直しがあった。
- ・名寄市国民健康保険運営協議会へ諮問し、4万円が増額され113万円になる。

今後のスケジュール

- ・地方税法の改正案が示される予定であり、議会提案を前提に運営協議会へ諮問を行う。

第11次名寄市交通安全計画の計画期間延長について

- ・計画期間が令和3年から令和7年の5か年だが、交通安全対策基本法に基づく国と北海道の計画に準じており、道の計画が令和8年度の7月であることを受け、1か年延長し次期計画の期間を令和9年度から13年度までの5か年とする。
- ・HPで周知し、本市の事情に沿った計画の策定を目指す。

プラスチック資源の循環に向けた取組について

- ・本市を含む4市町村では、容器包装リサイクル法に基づき、プラスチック容器類の分別収集とリサイクルを行っている。
- ・だが一方で、包装容器以外のプラスチック製品は対象外であり、埋め立て処分していた。
- ・リサイクルし、環境負荷の軽減、行政・事業者・消費者一体となった取組が必要であり、容器類と一括して収集リサイクルを開始する。
- ・令和9年度から開始するために環境大臣、経産大臣の認定を受ける必要があり、申請を行うほか、市民説明会を開催する。

<質疑>

問 新焼却炉の熱効率で課題とならないか。

答 燃焼に回る量が減少することは确实だが、想定するプラスチック製品は100%のもの等分かりやすく分別したい。中間処理施設を管理する衛生施設事務組合と相談し具体的な影響は示したい。

令和8年度地方税制改正(案)について(市税に関する主なもの)

- ・閣議決定された税制大綱において、地方税法等の一部を改正することとなる。

個人住民税の控除: 給与所得控除の最低補償額を74万円に引き上げ

所得税の扶養親族の合計所得金額要件を 62 万円以下に引き上げ  
勤労学生控除の対象となる学生等の合計所得金額要件が 89 万円に引き上げ  
自動車税関係：環境性能割の廃止と種別割の名称変更  
負担軽減：新築住宅、再生可能エネルギー、物流総合効率化法について措置の拡充  
その他：物価上昇にあわせ、固定資産税の免税点を引き上げた。

## 【教育部】

地域クラブ活動の推進について

これまで名寄市部活動改革推進協議会で 2 回、運動部会、文化芸術部会それぞれ複数回の協議を進めている。

・議論経過は新中学 1 年生の保護者へ次のとおり説明した。

○部活動との立ち位置と運営体制

○地域展開の意義と全国的な方針

○地域展開の状況と拠点校、競技団体との関連性

○実際の活動内容と文化系の展開に向けた体制づくり

名寄市教育振興補助金交付要綱の改正内容について

・原資となっている教育振興基金が令和 6 年度で枯渇し、今後も持続的な制度としてあるよう交付要綱を改正した。

・1,000 万円の補助を想定しており、交通費の道内、道外ともに減額する。

## < 質疑 >

問 近隣自治体の状況は。

答 小中高に対応しており、名寄市はかなり充実している。

問 旅費・宿泊費の高騰が顕著であり議論が必要であり、再検討は出来ないのか。

答 保護者からみると減額となるが、教育宣言都市でもあり今後も継続できるよう協議したい。

令和 7 年度名寄市全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

・小学校 5 年生、中学校 2 年生を対象に、4 月～7 月に調査を行い結果が届いた。

・平均値では全国より高い結果に、中学校では低い結果となった。

・中学校男子では握力と 50 メートル走、女子では握力とハンドボール投げで上回った

・体育の授業は楽しいと答えており、ICT の学びについても肯定的である。

・1 日の運動時間も全国平均より長い結果であった。

このことから、個々の能力やペースに応じた指導を充実させる必要があり、地域の特色を活かした活動の推進を図る。

## < 質疑 >

問 運動習慣が結果に反映されていない状況であるほか、中学生女子での運動に課題があるが対応は。

答 詳細を解析し、日々の授業において改善は進めている。

問 生活習慣で朝食を毎日取らない女子中学生が3分の1になっているが、朝食を取ることが必要ではないか。対策は。

答 全く取らない比率は全国比より低いため、おおむね食べている状況だと把握している。市としても栄養教諭が2名配置されており、特別活動の授業や学校を通じて食の大切さを発信したい。

#### 名寄市民文化センターの開館時間の変更(試行)について

- ・現在7時から22時まで開館しているが、21時以降の利用が少なく、要望がある場合以外は21時に繰り下げたい。
- ・休館日は館内を完全に閉館とする(西館ホワイエは利用できていた)

#### <質疑>

問 試行とのことだがどの程度の期間か。

答 6か月試行した後、社会教育委員から意見をいただく。

問 利用者の減少とあったがどの程度の利用か。

答 午前中の利用が65%、13時から17時が18.7%、夜間が17%だが、その9割が21時までに利用を終える。

#### 風連公民館の事務所移転について

- ・一般社団法人Nスポーツコミッションなよろが設立され、市内スポーツ施設の指定管理業務を行うこととなる。
- ・これまで市職員による修繕等の管理を行っていたが、次年度から大幅に減少する。
- ・公民館業務についても文化センターは一職員が行うため、効率化を図るため移転したい。
- ・本件については公民館運営委員会、風連町文化協会から理解をいただいております、協力関係を維持したい。

#### 財産の取得について

- ・シンクライアント環境のサポート終了をふまえ、FAT環境へ移行することにより校務用端末としてノート型パソコン230台を導入する。

#### 令和8年第1回定例会補正予算について

- ・名寄小学校のボイラー取り替え、4月に更新する学習者・指導者端末のライセンス購入、入札工事の執行残、交付金確定による交付助成などから補正したい
- ・本会議で対応する旨で確認した。

#### その他

- ・令和8年度二十歳を祝う会について、近年の参加者数の推移や出生数、会場の選定など概要ならびあり方について検討し、若者が主体性を持って取り組む内容で開催したい。
- ・エア・ウォーター北海道株式会社が公募した「ふるさと応援H(英知)プログラム」の採択により、1,000万円のご寄付を頂くことになった。については移動天文台車両を更新し、広く活用したい。

<質疑>

問 車両更新のスケジュールは。

答 令和8年度の事業であり、年度替わり次第早急に手続きを開始し、早く動かしたい。

報告者 厚生文教常任委員会 副委員長 今村 芳彦